

北部茶産地向き茶早生品種 ‘さいのみどり’

誌名	埼玉県農林総合研究センター研究報告 = Bulletin of the Saitama Prefectural Agriculture and Forestry Research Center
ISSN	13467778
著者名	内野,博司 田中,江里 石川,巖 岡野,信雄 嶋崎,豊 本多,勇介 酒井,崇 中島,健太 京極,英雄 北田,嘉一 淵之上,康元 船越,昭治 田中,萬吉 米丸,忠
発行元	埼玉県農林総合研究センター
巻/号	3号
巻号補足	
掲載ページ	p. 75-94
発行年月	2003年10月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター

Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council
Secretariat



北部茶産地向き茶早生品種 ‘さいのみどり’

内野博司*・田中江里*・石川 巖*・岡野信雄*・嶋崎 豊*・本多勇介*

酒井 崇**・中島健太**・京極英雄***・北田嘉一****

淵之上康元****・船越昭治****・田中萬吉****・米丸 忠****

New Green Tea Cultivar 'Sainomidori' for North Tea Producing Area

Hiroshi UCHINO, Eri TANAKA, Iwao ISHIKAWA, Nobuo OKANO, Yutaka SHIMAZAKI,
Yusuke HONDA, Takashi SAKAI, Kenta NAKAJIMA, Hideo KYOUGOKU, Kaichi KITADA,
Yasumoto FUCHINOUE, Shouji FUNAKOSHI, Mankichi TANAKA, and Tadashi YONEMARU

Abstract New green tea cultivar 'Sainomidori' has been bred. The plucking times of the first crop of this cultivar are 2 days earlier than those of 'Yabukita'. 'Sainomidori' is resistant to cold drought and bark split frost injury. The level of resistance to freezing injury is almost the same as 'Yabukita'. The damage to Anthracnose is less than that of 'Sayamakaori'. The damage caused by mulberry scale is less than 'Yabukita'.

要 約 ‘やぶきた’より摘採期が約2日早い早生の緑茶用品種‘さいのみどり’を育成した。
‘さいのみどり’は従来の主要な早生品種である‘さやまかおり’よりも炭疽病に強く、クワシロカイガラムシに対しては‘やぶきた’よりも抵抗性を持っている。

我が国における経営的な茶生産のほぼ北限とされている関東・東山地域では、冬季の寒干害によって、茶樹の被害が大きく、茶業経営が不安定となりやすいため、耐寒性に優れる品種の育成が望まれている。また、現在の茶園のほとんどが‘やぶきた’であるために、摘採・加工時の労働面での競合、気象災害、特定の病虫害の多発、香味の画一化等が問題となっている。このために、‘やぶきた’よりも耐寒性に優れ、摘採期の異なる強健多収で高品質な新品種を育成して、多様な品種構成の茶園形成を促進し、茶業の安定と活性化を図ることが重要である。

関東地方を中心とした冷涼茶産地においては、耐寒性に優れた‘さやまかおり’が主要な早生品種と

して定着している。‘さやまかおり’は栽培が容易で収量も多く品質も良い品種であるが、炭疽病に弱いという、栽培上の問題をもっている。このため、炭疽病に強い優れた早生品種が求められていた。

茶業特産研究所（農林水産省茶育種指定試験地）では早生で炭疽病に強く、多収で高品質な煎茶用品種‘さいのみどり’を育成したので、その概要を報告する。

来歴及び育成経過

‘さいのみどり’は、1966年（昭和41年）に埼玉県茶業研究所（現埼玉県農林総合研究センター茶業

*特産支所（現茶業特産研究所）、**特産支所（現川越農林振興センター）、***元特産支所、****元茶業試験場

特産研究所)において,‘さやまかおり’から採種された自然交配実生群より選抜された栄養系統(個体番号66G 1-297)である。耐寒性を主体とした選抜を1967年(昭和42年)から1973年(昭和48年)までの7年間,また摘芽及び製茶品質による選抜を1974年(昭和49年)から1975年(昭和50年)まで行い,本個体‘66G 1-297’を有望系統に決定した。

その後育苗試験を経て‘66G 1-297’の栄養系番号によって,耐寒性,収量性,製茶品質等の特性調査を実施した。その結果,早生で,耐寒性に優れ,多収で炭疽病に強い本系統を‘埼玉37号’の系統番

号で,1994年(平成6年)から栄養系適応性検定試験第8群に供試し,関係場所において地域適応性検定試験,もち病抵抗性及び裂傷型凍害に関する特性検定試験を行った結果,有望と認められた(表1)。

2003年2月に行われた茶品種候補命名登録検討委員会及び同年3月に行われた農林水産省育成農作物新品種命名登録審査会で農林登録候補として検討され優秀と認められ,2003年9月5日に茶農林50号‘さいのみどり’として命名登録された。

なお,品種登録は現在申請中である。

表1 ‘さいのみどり’の育成経過

育成地	採種及びは種	1966年(昭和41年)	
	個体養成及び個体選抜試験	1967年～1973年(昭和42年～昭和48年)	
	摘芽及び製茶品質試験	1974年～1975年(昭和49年～昭和50年)	
	苗床選抜試験	1976年～1977年(昭和51年～昭和52年)	
	栄養系比較試験	1978年～1991年(昭和53年～平成3年)	
特性検定試験	裂傷型凍害抵抗性	1994年～1998年(平成6年～平成10年)	鹿児島県茶業試験場
	もち病抵抗性	1994年～2001年(平成6年～平成13年)	静岡県茶業試験場
	系統適応性検定試験	1994年～2002年(平成6年～平成14年)	(農林水産省委託の5場所)
	県単独事業による品種選定試験など	1995年～2002年(平成7年～平成14年)	(公立12場所)

特性の概要

1 形態的特性

樹姿は中間でよく分枝し,株張りは‘やぶきた’よりやや良好である。成葉は披針形で‘やぶきた’‘さやまかおり’よりやや小さい。成葉の内折度は‘やぶきた’より大きく反転度はやや小さい。摘採期における新芽の芽立ち及び生育は良好であり,幼葉は軟らかく‘さやまかおり’よりもうすい緑色である(表2・3・4・5・9・10・13・27・28・33)。

2 生理・生態的特性

挿し木発根及び本ばでの活着は良好である(表7・8・23・24)。一番茶の萌芽期及び摘採期は,‘やぶきた’より約2日早く,ほぼ‘さやまかおり’と同じで寒冷地では早生に分類される(表11・12・25・26)。耐

寒性について,裂傷型凍害抵抗性は‘やぶきた’並の「中」であり,赤枯れ,青枯れ抵抗性とも‘やぶきた’並である(表6・22・44)。耐病性について,炭疽病及び輪斑病抵抗性は‘やぶきた’より「やや強」である(表2・21・40・41・42)。耐虫性について,クワシロカイガラムシに対しては‘やぶきた’より強いが‘さやまかおり’には及ばない(表2・43)。

3 収量性

育成地においては収量は一番茶,二番茶とも‘やぶきた’より多いが‘さやまかおり’よりはやや少ない(表15)。各試験地においては多少のばらつきがあるものの‘やぶきた’と比較してやや多いところが多い(表29・30・31)。

また,摘採芽の形質は芽数型である(表14・32・34・35・36)。

4 品質

育成地における一番茶の製茶品質はほぼ‘やぶきた’と同等である(表16～20)。特徴としては製品の形状は細くよれるが、色沢はやや黒みを帯びやすい傾向がある。二番茶の製茶品質もほぼ同様である(表

16～20)。各試験地においては一番茶の水色は14場所中8場所で‘やぶきた’より優れていた。‘さやまかおり’と比較するとほとんどの場所で外観、内質ともに優れていた(表37)。成分分析の結果ではアミノ酸・テアニンは他の品種より少なかった(表38)。

表2 栽培特性

品 種	早晩性	樹姿	樹勢	挿木 発根性	耐寒性	
					赤枯	青枯
さいのみどり	早生	中間	中	良	やや強	中
やぶきた	中生	やや直立	中	良	やや強	中
さやまかおり	早生	中間	強	良	やや強	中

品 種	耐病性			耐虫性	
	炭そ病	輪斑病	もち病	クワシロカイガラムシ	
さいのみどり	やや強	やや強	やや強	やや強	
やぶきた	弱	弱	中	弱	
さやまかおり	弱	強	やや強	強	

表3 成葉の形質

品 種	形	大きさ	厚さ	葉色	光沢	葉面のしわ	内折度	反転度
さいのみどり	披針型	中	やや薄	緑	やや少	やや多	大	やや少
やぶきた	長倒卵	やや大	中	緑	やや多	中	中	中
さやまかおり	長楕円	やや大	やや厚	濃緑	やや少	やや多	やや大	中

表4 新葉の形質

品 種	形	大きさ	厚さ	葉色	光沢	葉質	毛茸の多少
さいのみどり	やや披針型	中	やや薄	緑	中	やや軟	やや多
やぶきた	長楕円	やや大	やや薄	緑	やや多	やや軟	やや多
さやまかおり	長楕円	やや大	やや薄	深緑	中	やや軟	やや多

表5 育成地における生育および一般特性

品 種	樹姿	樹勢	早晩生
さいのみどり	中間	中	早生
やぶきた	やや直立	中	中生

表6 育成地におけるほ場耐寒性

品 種	赤枯れ被害	青枯れ被害
さいのみどり	2.4	2.1
やぶきた	2.8	1.8

表7 育成地における育苗成績(挿し木1年生)

品 種	生存率	生育程度	均整度
さいのみどり	93%	4.0	3.0
やぶきた	81	4.0	3.3
さやまかおり	96	4.5	4.5

注1) 1976年6月挿し木

2) 生育程度・均整度：1(不良)～5(良)

注1) 赤枯れは1985～1991年の平均

2) 青枯れは1986～1991年の平均

3) 被害度：1(少)～5(多)

表8 育成地における定植後の生育状況

品 種	活着率	生存率	樹高	株張り	生育程度	均 整 度
さいのみどり	95.6%	100%	43 cm	44 cm	5.0	4.5
やぶきた	95.6	100	42	35	4.5	4.0

注1) 1978年定植

2) 生育程度・均整度：1(不良)~5(良)

表9 育成地における生育停止期の樹高・株張り

品 種	樹 高 (cm)					株 張 り (cm)				
	1988	1989	1990	1991	平均	1988	1989	1990	1991	平均
さいのみどり	65	69	71	80	71	145	126	144	154	142
やぶきた	59	71	76	82	72	122	109	119	131	120

表10 育成地における生育停止期の生育程度・均整度

品 種	生 育 程 度						均 整 度					
	1988	1989	1990	1991	1993	平均	1988	1989	1990	1991	1993	平均
さいのみどり	3.0	5.0	2.5	3.0	4.0	3.5	3.5	5.0	4.0	3.0	4.0	3.9
やぶきた	3.0	4.0	2.0	3.0	3.0	3.0	2.0	4.0	3.5	3.0	3.0	3.1

注1) 生育程度, 均整度：1(不良)~5(良)

表11 育成地における一番茶の萌芽期・摘採期 (月. 日)

品 種	萌 芽 期					摘 採 期				
	1988	1989	1990	1991	平均	1988	1989	1990	1991	平均
さいのみどり	4.18	4.14	4.17	4.12	4.15	5.16	5.14	5.17	5.7	5.14
やぶきた	4.23	4.15	4.22	4.13	4.18	5.19	5.16	5.22	5.14	5.18

表12 育成地における二番茶の摘採期 (月. 日)

品 種	1988	1989	1990	1991	平均
さいのみどり	7.8	6.30	7.4	6.28	7.3
やぶきた	7.12	7.1	7.5	7.1	7.5

表13 育成地における一番茶の摘採期の摘芽の観察結果

品 種	新芽の観察		幼 葉 の 観 察			
	芽揃い	粗密	葉色	光沢	葉質	アトリアン
さいのみどり	やや良	やや密	緑	やや多	やや軟	やや少
やぶきた	中	中	緑	やや多	やや軟	少

表14 育成地における一番茶の収量形質

品 種	芽数	百芽重	出開率
さいのみどり	216 本	40.5 g	39 %
やぶきた	182	39.9	26

注1) 1988~1991年の平均

2) 芽数は30cm 平方当たりの調査

内野ら：北部茶産地向き茶早生品種‘さいのみどり’

表15 育成地における収 量 (Kg/10a)

品 種	一 番 茶					二 番 茶				
	1988	1989	1990	1991	平 均	1988	1989	1990	1991	平 均
さいのみどり	208	533	507	395	411	179	325	769	341	404
やぶきた	107	324	327	246	251	156	156	352	146	203

表16 育成地における製茶品質 外観 (色沢)

品 種	一 番 茶						二 番 茶			
	1985	1986	1987	1988	1989	平 均	1986	1988	1989	平 均
さいのみどり	9.0	7.0	6.0	7.0	7.0	7.2	5.0	7.0	6.0	6.0
やぶきた	10.0	8.0	7.5	8.0	8.5	8.4	6.0	6.0	9.0	7.0

表17 育成地における製茶品質 香気

品 種	一 番 茶						二 番 茶				
	1985	1986	1987	1988	1989	平 均	1986	1987	1988	1989	平 均
さいのみどり	8.3	7.4	6.7	7.4	7.5	7.5	5.7	8.0	7.0	6.0	6.7
やぶきた	8.3	8.2	7.5	8.2	8.0	8.0	6.0	7.0	8.5	7.5	7.2

表18 育成地における製茶品質 水色

品 種	一 番 茶						二 番 茶				
	1985	1986	1987	1988	1989	平 均	1986	1987	1988	1989	平 均
さいのみどり	9.0	8.7	8.9	8.7	7.5	8.5	8.3	9.0	8.5	8.0	8.5
やぶきた	8.7	8.3	8.3	8.3	9.8	8.7	8.7	9.0	10.0	7.0	8.7

表19 育成地における製茶品質 滋味

品 種	一 番 茶						二 番 茶				
	1985	1986	1987	1988	1989	平 均	1986	1987	1988	1989	平 均
さいのみどり	9.0	7.9	9.2	7.9	7.3	8.3	7.0	9.0	9.0	7.5	8.1
やぶきた	8.7	7.5	8.0	7.5	9.0	8.1	8.0	9.0	9.0	7.5	8.4

表20 育成地における製茶品質 内質合計

品 種	一 番 茶						二 番 茶				
	1985	1986	1987	1988	1989	平 均	1986	1987	1988	1989	平 均
さいのみどり	26.3	24.0	24.7	24.0	22.3	24.3	21.0	26.0	24.5	21.5	23.3
やぶきた	25.7	24.0	23.8	24.0	26.8	24.8	22.7	25.0	27.5	21.0	24.3

注1) 審査は10点満点で実施

2) 1990, 1991年は晩霜害のため、品質比較から除外した。

表21 特性検定試験によるもち病抵抗性

	もち病被害	
	さいのみどり	やぶきた
1995	0.0	0.0
1996	1.0	1.5
1997	1.5	0.5
1998	13.0	18.0
1999	1.0	4.0
2000	0.0	0.5
2001	1.0	0.0

注1) 静岡県茶業試験場成績

2) 1995, 1998, 1999, 2001年：畦長1mの発病葉数

3) 1996, 1997年：全株（11株）の発病葉数

4) 2000年：50cm × 50cm 枠内の発病葉数

表22 特性検定試験による裂傷型凍害発生率

	人為低温処理による検定			
	11月上旬		11月中・下旬	
	さいのみどり	やぶきた	さいのみどり	やぶきた
1994	%	%	0%	50%
1995			10	10
1996	100	100	0	50
1997	0	0	0	0
1998	40	5	0	0
年次平均	46.7	38.3	2.0	22.0
総合判定	さいのみどり：中		やぶきた：中	

注1) 鹿児島県茶業試験場成績

表23 各試験地における苗床の生育状況

試験場所	品 種	挿し木1年目			挿し木2年目		
		生存数	生育	均整度	生存数	生育	均整度
茨城	さいのみどり	98%	3	4	89%	5	5
	さやまかおり	98	4	3	98	4	5
	やぶきた	95	3	4	95	5	5
京都	さいのみどり	—	—	—	76	—	3
	さやまかおり	—	—	—	100	4	3
	やぶきた	—	—	—	100	—	4
滋賀	さいのみどり	100	3	3	88	3	3
	やぶきた	100	4	3	84	3	4
奈良	さいのみどり	97	3	3	—	—	—
	さやまかおり	100	3	3	—	—	—
	やぶきた	98	4	4	—	—	—
香川	さいのみどり	—	—	—	22	2	2
	さやまかおり	—	—	—	90	4	4
	やぶきた	—	—	—	52	3	3
福岡	さいのみどり	97	4	5	88	3.5	3
	さやまかおり	100	5	5	98	4	4
	やぶきた	92	4.5	5	92	4.5	4
大分	さいのみどり	—	—	—	88	4	4
	さやまかおり	—	—	—	91	5	5
	やぶきた	—	—	—	77	4	5

注1) 指定試験関係場所は1994年，県単場所は1995年挿し木

2) 生育・均整度：1（不良）～5（良）

内野ら：北部茶産地向き茶早生品種‘さいのみどり’

表24 各試験地における幼木期の生育状況

試験場所	品 種	定植後1年		定植後2年		
		生存数	生育の良否	生存数	生育の良否	均整度
茨城	さいのみどり	100 %	3. 0	100 %	4. 0	4
	やぶきた	100	3. 5	100	4. 0	4
三重	さいのみどり	88	3. 0	86	3. 0	—
	やぶきた	98	4. 0	98	3. 0	—
京都	さいのみどり	100	2. 0	100	3. 0	3
	やぶきた	100	4. 0	100	3. 0	3
高知	さいのみどり	100	3. 0	100	3. 0	—
	やぶきた	100	4. 0	100	4. 0	—
熊本	さいのみどり	100	4. 0	74	3. 0	—
	やぶきた	96	3. 0	94	4. 0	—
鹿児島	さいのみどり	98	4. 0	99	4. 0	—
	やぶきた	100	4. 5	98	5. 0	—
静岡	さいのみどり	100	—	79	1. 0	—
	やぶきた	96	—	100	3. 0	—
滋賀	さいのみどり	100	5. 0	95	5. 0	—
	やぶきた	85	3. 0	85	3. 0	—
奈良	さいのみどり	100	4. 0	—	—	—
	やぶきた	97	3. 0	—	—	—
香川	さいのみどり	97	3. 0	100	3. 0	—
	やぶきた	97	2. 5	97	3. 5	—
福岡	さいのみどり	100	3. 5	100	3. 0	—
	やぶきた	100	4. 5	100	4. 5	—
長崎	さいのみどり	94	3. 0	94	3. 5	—
	やぶきた	100	4. 5	100	4. 0	—
大分	さいのみどり	100	3. 0	100	4. 0	—
	やぶきた	97	3. 0	100	4. 0	—
佐賀	さいのみどり	98	3. 0	—	—	—
	やぶきた	98	3. 0	—	—	—
宮崎	さいのみどり	98	3. 0	—	3. 0	—
	やぶきた	100	5. 0	—	5. 0	—

注1) 指定試験関係場所は1994年挿し木, その他の場所は1995年挿し木

2) 定植後2年の生存率は補植後の調査

3) 生育の良否・均整度:1(不良)~5(良)

表25 各試験地における一番茶萌芽期

試験地	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	平均	対やぶきた差	対さやまかおり差
茨城			4月20日	4月20日	4月14日	4月 1日	4月14日	1日	0日
三重			—	4月14日	4月 9日	4月 3日	4月 9日	1日	1日
京都			4月 1日	4月 6日	4月 2日	3月22日	3月31日	-5日	-3日
高知			3月29日	4月 3日	3月28日	3月24日	3月29日	-7日	-1日
熊本	3月25日	—	3月29日	4月 3日	3月27日	3月29日	3月30日	0日	4日
鹿児島		4月 4日	3月31日	4月 2日	4月 2日	3月28日	4月 1日	-4日	-2日
静岡			3月27日	4月10日	4月 5日	—	4月 4日	-2日	-1日
滋賀						4月 2日	4月 2日	0日	—
奈良				4月18日	4月13日	4月 2日	4月11日	-3日	-1日
香川				4月14日	4月 9日	4月 1日	4月 8日	-1日	0日
福岡				4月 5日	3月28日	3月24日	3月29日	-3日	-2日
大分				4月12日	4月 4日	4月 1日	4月 6日	-1日	3日
宮崎			3月28日	4月 5日	3月29日	—	3月31日	-3日	-1日
佐賀				4月10日	3月28日	—	4月 4日	-2日	—
平均								-2.1	-0.2

注1) 対やぶきた差・対さやまかおり差の「—」記号は萌芽期の早いことを示す

表26 各試験地における一番茶摘採期

試験地	1999年	2000年	2001年	2002年	平均	対やぶきた差	対さやまかおり差
茨城	5月21日	5月17日	5月17日	5月 5日	5月15日	-4日	0日
三重		5月12日	5月 2日	4月26日	5月 3日	4日	1日
京都	5月 6日	5月10日	5月 2日	4月25日	5月 3日	-1日	0日
高知	5月 3日	5月 2日	4月29日	4月25日	4月30日	-2日	-1日
熊本	4月26日	4月26日	4月27日	4月22日	4月25日	—	1日
鹿児島		4月28日	—	4月22日	4月25日	—	—
静岡	4月29日	5月 4日	5月 1日	—	5月 1日	-3日	1日
滋賀				5月 2日	5月 2日	0日	—
奈良		5月18日	—	4月30日	5月 9日	-5日	0日
香川		5月10日	5月 2日	4月24日	5月 2日	-2日	-2日
福岡		5月 5日	5月 1日	4月24日	4月30日	-1日	0日
大分		5月16日	5月 6日	5月 2日	5月 8日	-2日	2日
宮崎	4月24日	4月28日	4月26日	—	4月26日	-2日	-2日
佐賀		5月 7日	5月 5日	—	5月 6日	4日	—
平均						-1.0	0.0

注1) 対やぶきた差・対さやまかおり差の「—」記号は摘採期の早いことを示す

内野ら：北部茶産地向き茶早生品種‘さいのみどり’

表27 各試験地における生育停止期の樹高

試験場所	品 種	樹 高 (cm)						
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生
茨城	さいのみどり	35	62	112	57	58	63	65
	やぶきた	40	100	116	67	65	55	58
	さやまかおり	36	57	116	66	65	58	62
三重	さいのみどり	20	56	63	63	59	55	72
	やぶきた	32	78	79	90	98	56	78
	さやまかおり	29	72	73	85	85	68	89
京都	さいのみどり	33	63	124	54	60	65	67
	やぶきた	41	62	113	52	55	60	63
	さやまかおり	40	56	111	55	62	66	71
高知	さいのみどり	31	84	65	48	52	62	67
	やぶきた	62	130	65	45	51	62	64
	さやまかおり	55	124	65	48	54	64	69
熊本	さいのみどり	25	41	38	35	57	52	58
	やぶきた	22	37	50	38	53	59	49
	さやまかおり	23	47	46	40	56	55	59
鹿児島	さいのみどり	37	95	155	80	—	—	—
	やぶきた	25	115	175	77	—	—	—
	さやまかおり	48	69	170	80	—	—	—
静岡	さいのみどり	31	50	72	78	98	105	101
	やぶきた	36	65	79	75	89	96	100
	さやまかおり	41	66	68	76	97	117	98
滋賀	さいのみどり	28	70	89	93	67	95	—
	やぶきた	24	60	93	76	69	85	—
奈良	さいのみどり	19	43	52	55	79	76	93
	やぶきた	22	36	46	53	73	73	80
	さやまかおり	22	—	54	54	67	73	82
香川	さいのみどり	52	138	109	99	102	103	—
	やぶきた	52	154	106	93	83	81	—
	さやまかおり	68	151	96	88	82	78	—
福岡	さいのみどり	33	75	57	70	73	120	—
	やぶきた	42	99	61	70	78	87	—
	さやまかおり	41	87	59	67	70	76	—
長崎	さいのみどり	34	46	80	—	—	—	—
	やぶきた	34	48	82	66	72	73	—
大分	さいのみどり	37	102	101	46	49	116	—
	やぶきた	38	106	109	47	52	122	—
	さやまかおり	37	86	92	42	48	122	—
佐賀	さいのみどり	33	—	62	112	134	—	—
	やぶきた	39	—	73	99	121	86	—
宮崎	さいのみどり	58	55	44	45	57	—	—
	やぶきた	66	64	45	49	57	—	—
	さやまかおり	72	62	45	47	55	—	—

表28 各試験地における生育停止期の株張り

試験場所	品 種	株張り (cm)						
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生
茨城	さいのみどり	19	42	68	87	88	102	99
	やぶきた	22	51	82	94	100	106	106
	さやまかおり	21	51	89	103	103	107	107
三重	さいのみどり	13	41	37	57	75	71	80
	やぶきた	21	61	46	87	100	84	102
	さやまかおり	18	61	44	88	102	98	97
京都	さいのみどり	12	39	80	69	84	86	100
	やぶきた	19	48	81	71	83	83	89
	さやまかおり	20	49	94	85	96	106	123
高知	さいのみどり	20	30	73	86	104	119	115
	やぶきた	34	51	85	95	104	121	117
	さやまかおり	30	51	97	102	115	128	129
熊本	さいのみどり	20	31	43	60	88	110	103
	やぶきた	17	29	41	49	87	99	100
	さやまかおり	21	42	51	66	114	130	117
鹿児島	さいのみどり	19	49	93	133	—	—	—
	やぶきた	25	65	97	129	—	—	—
	さやまかおり	30	110	108	140	—	—	—
静岡	さいのみどり	15	32	59	84	103	119	152
	やぶきた	24	49	78	101	106	112	135
	さやまかおり	24	47	90	101	120	137	150
滋賀	さいのみどり	23	48	73	78	84	111	—
	やぶきた	20	47	73	77	81	93	—
奈良	さいのみどり	13	21	43	72	99	112	111
	やぶきた	13	25	44	60	77	83	84
	さやまかおり	13	—	57	74	99	112	113
香川	さいのみどり	19	65	83	103	131	120	—
	やぶきた	25	80	95	95	105	104	—
	さやまかおり	28	101	112	116	124	115	—
福岡	さいのみどり	11	35	77	100	119	129	—
	やぶきた	15	46	65	112	121	143	—
	さやまかおり	21	49	79	115	125	143	—
長崎	さいのみどり	24	45	74	—	—	—	—
	やぶきた	31	54	82	125	126	149	—
大分	さいのみどり	15	51	97	79	109	141	—
	やぶきた	19	58	106	95	117	173	—
	さやまかおり	15	48	92	74	101	149	—
佐賀	さいのみどり	27	—	76	94	150	—	—
	やぶきた	23	—	95	126	168	166	—
宮崎	さいのみどり	28	61	81	102	121	—	—
	やぶきた	36	73	88	117	131	—	—
	さやまかおり	38	83	94	122	139	—	—

内野ら：北部茶産地向き茶早生品種‘さいのみどり’

表29 各試験地における一番茶収量(kg/10a)

試験地	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	平均	やぶきた	さやまかおり	やぶきた との平均比	さやまかおり との平均比
茨城		110	174	258	167	177	167	182	1.06	0.97
三重			100	165	102	123	175	282	0.70	0.44
京都		67	269	168	191	174	130	272	1.34	0.64
高知		216	195	296	412	280	267	307	1.05	0.65
熊本		194	231	305	72	201	199	271	1.01	0.74
鹿児島			308	369	540	406	323	—	1.26	—
静岡		210	301	369	—	293	274	430	1.07	0.68
滋賀				170	—	170	206	—	0.83	—
奈良		137	—	—	—	136	101	138	1.35	0.99
香川		107	248	380	—	245	164	260	1.49	0.94
福岡		82	284	296	—	221	211	247	1.05	0.89
大分		164	232	305	—	234	231	171	1.01	1.37
宮崎	59	182	—	—	—	121	149	143	0.81	0.85
佐賀		135	272	—	—	204	229	—	0.89	—
平均									1.07	0.83

表30 各試験地における二番茶収量(kg/10a)

試験地	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	平均	やぶきた	さやまかおり	やぶきた との平均比	さやまかおり との平均比
茨城		120	139	160	326	186	112	164	1.66	1.13
三重			119	244	223	195	364	405	0.54	0.48
京都		108	161	157	61	122	78	183	1.56	0.66
高知		163	159	216	262	200	187	282	1.07	0.71
熊本					71	71	68	127	1.04	0.56
鹿児島				369	400	385	348	—	1.11	—
静岡			235	528	—	382	262	506	1.46	0.75
滋賀				120	—	120	229	210	0.52	0.57
香川		220	447	667	—	445	267	335	1.67	1.33
福岡			118	—	—	118	210	149	0.56	0.79
大分		131	88	126	—	116	120	120	0.97	0.97
宮崎	132	255	—	—	—	194	195	243	0.99	0.80
佐賀		167	205	—	—	186	187	—	0.99	—
平均									1.09	0.80

注1) 定植年静岡：1995年、茨城・三重・京都・高知・熊本・鹿児島・奈良：1996年、

香川・福岡・滋賀・大分・佐賀：1997年、宮崎：1998年

2) 静岡・奈良・宮崎は1年生苗、他は2年生苗

表31 各試験地における一・二番茶摘採面当たり収量

試験場所	品 種	一 番 茶 収 量(g/m ²)				二 番 茶 収 量(g/m ²)			
		4年生	5年生	6年生	7年生	4年生	5年生	6年生	7年生
茨城	さいのみどり	302	326	379	239	242	313	266	466
	やぶきた	253	319	322	186	186	196	142	210
	さやまかおり	244	323	461	165	205	188	221	356
三重	さいのみどり	—	295	306	204	—	349	549	446
	やぶきた	—	132	457	342	—	416	859	676
	さやまかおり	—	122	634	649	—	418	702	923
京都	さいのみどり	152	532	431	212	245	318	278	96
	やぶきた	109	425	241	301	153	401	—	52
	さやまかおり	128	628	472	412	242	255	294	212
高知	さいのみどり	399	349	388	353	301	283	283	292
	やぶきた	356	291	350	458	224	215	225	324
	さやまかおり	340	304	438	429	306	298	428	336
熊本	さいのみどり	—	512	—	—	—	357	—	—
	やぶきた	—	445	—	—	—	218	—	—
	さやまかおり	—	701	—	—	—	634	—	—
静岡	さいのみどり	—	522	532	529	—	449	357	674
	やぶきた	—	581	425	420	—	426	218	489
	さやまかおり	—	726	628	468	—	637	634	744
奈良	さいのみどり	—	301	—	—	—	—	—	—
	やぶきた	—	299	—	—	—	—	—	—
	さやまかおり	—	248	—	—	—	—	—	—
香川	さいのみどり	223	356	356	—	702	629	794	—
	やぶきた	166	318	447	—	354	553	409	—
	さやまかおり	215	466	460	—	625	648	729	—
福岡	さいのみどり	163	580	—	—	—	504	—	—
	やぶきた	142	326	—	—	—	396	—	—
	さやまかおり	176	515	—	—	—	274	—	—
大分	さいのみどり	347	481	539	—	303	150	160	-
	やぶきた	274	353	451	—	300	129	128	-
	さやまかおり	280	407	323	—	185	147	191	-
宮崎	さいのみどり	391	304	—	—	446	259	—	—
	やぶきた	281	320	—	—	456	346	—	—
	さやまかおり	319	408	—	—	376	417	—	—
佐賀	さいのみどり	376	506	—	—	466	381	—	—
	やぶきた	345	418	—	—	405	256	—	—

内野ら：北部茶産地向き茶早生品種‘さいのみどり’

表32 各試験地における一番茶摘採期の芽長・芽数

試験場所	品 種	芽 長 (cm)				芽数 (30×30cm)			
		4年生	5年生	6年生	7年生	4年生	5年生	6年生	7年生
京都	さいのみどり	6.3	4.4	4.0	4.3	66	137	150	119
	やぶきた	7.9	5.0	3.6	3.9	49	76	97	93
	さやまかおり	6.9	5.7	4.6	5.6	53	144	133	123
鹿児島	さいのみどり			8.4				144	
	やぶきた			8.8				131	
静岡	さいのみどり		5.7	7.0	4.9		110	99	99
	やぶきた		6.3	7.8	5.5		135	135	108
	さやまかおり		6.4	6.8	5.2		155	115	86
奈良	さいのみどり		6.0		4.0		115		
	やぶきた		4.9		5.4		42		
	さやまかおり		5.6		2.8		106		
大分	さいのみどり			8.9	7.6				
	やぶきた			9.0	8.8				
	さやまかおり			7.1	6.7				
宮崎	さいのみどり		7.1	5.8		98	128		
	やぶきた		7.2	6.2		82	116		
	さやまかおり		6.2	5.7		96	140		

表33 各試験地における一番茶摘芽の芽揃い

試験場所	品 種	芽揃い	試験場所	品 種	芽揃い
茨城	さいのみどり	3.0	香川	さいのみどり	3.5
	やぶきた	3.0		やぶきた	3.0
	さやまかおり	3.0		さやまかおり	3.5
三重	さいのみどり	2.5	福岡	さいのみどり	3.5
	やぶきた	4.5		やぶきた	4.5
	さやまかおり	5.0		さやまかおり	5.0
京都	さいのみどり	2.5	大分	さいのみどり	4.0
	やぶきた	3.0		やぶきた	2.5
	さやまかおり	4.0		さやまかおり	3.5
高知	さいのみどり	3.5	宮崎	さいのみどり	4.0
	やぶきた	3.0		やぶきた	3.5
	さやまかおり	3.0		さやまかおり	4.0
熊本	さいのみどり	4.5			
	やぶきた	4.0			
	さやまかおり	4.5			

注1) 芽揃い：1 (不良) ～5 (良)

表34 各試験地における一番茶摘採期の出開率・百芽重

試験場所	品 種	出開率(%)				百芽重(g)			
		4年生	5年生	6年生	7年生	4年生	5年生	6年生	7年生
茨城	さいのみどり	25	34	79	10	45.7	40.4	33.2	35.7
	やぶきた	21	34	80	5	54.9	46.8	40.4	31.7
	さやまかおり	22	30	91	4	48.5	40.7	37.6	26.1
三重	さいのみどり		38	26	53		80.2	68.1	44.2
	やぶきた		—	13	25		44.9	55.2	53.7
	さやまかおり		—	40	53		48.1	67.1	53.7
京都	さいのみどり	12	41	37	56	57.6	61.0	38.0	48.0
	やぶきた	9	40	53	44	76.4	61.0	33.0	37.0
	さやまかおり	7	49	45	43	67.4	52.0	45.0	56.0
高知	さいのみどり	35	30	42	24	59.2	34.8	30.0	30.4
	やぶきた	32	13	48	22	64.2	34.7	37.4	32.6
	さやまかおり	37	13	33	38	61.3	26.7	31.4	29.0
熊本	さいのみどり	69	76	65	62	23.9	31.0	44.4	45.0
	やぶきた	49	79	67	66	28.6	26.6	50.0	44.2
	さやまかおり	52	60	67	78	37.6	39.3	49.5	44.9
鹿児島	さいのみどり		32	56	—		87.6	74.2	62.0
	やぶきた		21	49	—		79.6	79.2	66.2
静岡	さいのみどり		59	28	64		52.0	62.0	63.0
	やぶきた		71	71	71		51.0	60.0	60.0
	さやまかおり		73	57	29		58.0	62.0	63.0
奈良	さいのみどり		41	—	—		56.1	—	43.0
	やぶきた		38	—	—		56.4	—	54.7
	さやまかおり		40	—	—		61.9	—	34.3
香川	さいのみどり	20	33	20	—	52.9	43.5	39.5	—
	やぶきた	29	42	20	—	47.5	58.2	39.0	—
	さやまかおり	25	46	39	—	60.5	50.2	42.0	—
福岡	さいのみどり	25	59	71	—	62.9	58.6	66.3	—
	やぶきた	20	23	50	—	73.7	64.3	68.1	—
	さやまかおり	16	26	62	—	74.5	63.8	73.3	—
大分	さいのみどり	61	84	78	—	111.0	96.0	81.8	—
	やぶきた	42	70	71	—	122.0	84.0	83.1	—
	さやまかおり	42	84	84	—	92.0	81.0	96.4	—
宮崎	さいのみどり	55	41	—	—	57.3	44.0	—	—
	やぶきた	34	37	—	—	51.7	44.1	—	—
	さやまかおり	46	61	—	—	49.7	27.9	—	—
佐賀	さいのみどり		41	—	—		64.5	—	—
	やぶきた		54	—	—		61.6	—	—

内野ら：北部茶産地向き茶早生品種‘さいのみどり’

表35 各試験地における二番茶摘芽期の芽長・芽数

試験場所	品 種	芽 長 (cm)				芽数 (30×30cm)			
		4年生	5年生	6年生	7年生	4年生	5年生	6年生	7年生
京都	さいのみどり	6.6	5.9	3.5	2.5	70	104	113	66
	やぶきた	6.3	5.0	—	3.3	53	114	—	36
	さやまかおり	5.7	4.7	4.2	4.6	75	140	101	88
宮崎	さいのみどり	8.4	6.0			128	116		
	やぶきた	9.4	6.3			95	116		
	さやまかおり	8.4	6.5			110	120		

表36 各試験地における二番茶摘採期の出開率・百芽重

試験場所	品 種	出開率 (%)				百芽重 (g)			
		4年生	5年生	6年生	7年生	4年生	5年生	6年生	7年生
茨城	さいのみどり	44.9	68.3	30.6	41.7	44.1	16.9	29.3	36.6
	やぶきた	25.6	70.0	34.3	50.8	45.7	23.9	20.8	27.8
	さやまかおり	38.3	61.1	50.7	67.3	46.0	20.2	32.9	44.8
三重	さいのみどり		18.3	52.9	71.7		70.0	89.7	91.7
	やぶきた		1.7	47.1	80.0		81.0	94.9	80.2
	さやまかおり		15.0	61.4	85.0		86.7	91.1	76.7
京都	さいのみどり	1.4	6.6	8.6	7.9	50.0	31.7	35.3	35.1
	やぶきた	11.4	7.0	12.7	20.0	35.6	27.9	36.3	34.9
	さやまかおり	8.0	8.8	38.6	31.3	43.5	29.4	40.4	36.4
高知	さいのみどり	17.2	6.6	8.6	7.9	50.0	31.7	35.3	35.1
	やぶきた	23.2	7.0	12.7	20.0	35.6	27.9	36.3	34.9
	さやまかおり	29.8	8.8	38.6	31.3	43.5	29.4	40.4	36.4
香川	さいのみどり	72.6	68.3	35.6	—	127.7	56.1	59.0	—
	やぶきた	82.3	84.1	67.4	—	109.2	74.2	55.2	—
	さやまかおり	81.9	69.5	67.9	—	146.1	86.8	72.9	—
福岡	さいのみどり		58.0	—	—		74.2	—	—
	やぶきた		64.0	—	—		62.8	—	—
	さやまかおり		54.0	—	—		55.0	—	—
大分	さいのみどり	52.0	30.0	17.0	—	76.0	58.0	42.2	—
	やぶきた	69.0	28.0	27.0	—	101.0	53.0	60.9	—
	さやまかおり	44.0	29.0	34.0	—	77.0	69.0	50.2	—
宮崎	さいのみどり	72.8	25.3	—	—	61.2	51.1	—	—
	やぶきた	67.0	76.8	—	—	85.4	54.7	—	—
	さやまかおり	67.0	84.8	—	—	85.4	70.5	—	—
佐賀	さいのみどり	—	57.0	—	—	—	55.5	—	—
	やぶきた	83.0	55.0	—	—	66.3	54.9	—	—

表37 各試験地における一番茶・二番茶煎茶品質

試験地	品 種	一 番 茶					二 番 茶				
		形状	色沢	香気	水色	滋味	形状	色沢	香気	水色	滋味
茨城	さいのみどり	8.5	8.3	8.9	9.5	8.8	8.3	8.0	8.3	9.0	8.5
	やぶきた	7.8	8.0	8.0	8.4	8.0	7.4	7.5	7.1	7.4	7.0
	さやまかおり	8.4	8.0	7.5	7.9	7.8	6.5	6.8	7.0	7.5	6.9
三重	さいのみどり	8.3	8.8	8.3	8.7	8.2	9.2	8.2	8.8	8.7	8.3
	やぶきた	9.5	9.2	9.8	8.3	9.3	7.0	9.0	9.2	9.3	9.5
	さやまかおり	8.7	8.8	8.0	8.3	8.7	8.0	7.5	8.0	9.2	7.3
京都	さいのみどり	7.3	7.8	8.0	8.8	7.5	8.3	7.0	7.8	8.0	7.3
	やぶきた	7.0	8.3	8.5	9.0	8.3	6.7	6.0	7.7	8.3	7.5
	さやまかおり	7.0	7.8	7.0	8.5	6.8	7.8	7.3	7.3	7.5	7.3
高知	さいのみどり	9.5	8.0	8.3	9.5	9.8	8.5	7.5	8.4	8.0	6.8
	やぶきた	9.0	9.1	9.3	8.3	7.8	6.6	7.1	8.3	8.6	8.0
	さやまかおり	8.5	8.8	7.5	8.8	7.8	8.8	8.4	7.3	9.1	8.4
熊本	さいのみどり	8.3	8.8	8.0	9.5	8.8	7.0	6.0	4.0	5.0	4.0
	やぶきた	8.8	9.0	9.5	9.3	9.3	7.0	6.0	5.0	6.0	6.0
	さやまかおり	8.3	8.3	7.3	9.5	8.3	7.0	6.0	5.0	5.0	5.0
鹿児島	さいのみどり	7.4	7.4	5.7	8.3	6.7	9.3	6.5	6.0	8.8	7.5
	やぶきた	7.8	7.8	9.2	8.7	9.2	7.0	7.5	9.5	8.5	9.8
	さやまかおり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
静岡	さいのみどり	8.3	8.0	7.7	8.3	8.3	—	—	—	—	—
	やぶきた	7.5	8.5	7.8	8.7	8.1	—	—	—	—	—
	さやまかおり	8.0	7.4	8.3	7.8	7.5	—	—	—	—	—
滋賀	さいのみどり	6.5	7.5	8.5	9.0	8.5	7.0	6.0	8.0	10.0	10.0
	やぶきた	7.0	10.0	9.0	9.0	9.0	10.0	10.0	8.0	7.0	6.0
	さやまかおり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
奈良	さいのみどり	6.0	4.0	8.4	8.8	8.0	—	—	—	—	—
	やぶきた	5.0	6.0	10.0	10.0	9.6	—	—	—	—	—
	さやまかおり	6.0	4.0	8.0	9.2	7.6	—	—	—	—	—
香川	さいのみどり	8.6	9.0	8.2	8.2	7.7	8.5	8.0	8.7	9.5	9.0
	やぶきた	7.5	7.8	8.0	7.3	7.3	9.0	9.3	8.3	8.3	8.8
	さやまかおり	7.3	8.0	9.0	6.8	7.7	7.2	7.2	6.8	7.3	6.8
福岡	さいのみどり	7.0	6.3	6.3	8.0	6.0	5.0	5.0	5.0	8.0	6.0
	やぶきた	8.0	7.7	8.7	8.7	8.7	7.0	3.5	7.0	8.0	7.0
	さやまかおり	8.3	6.7	6.7	8.3	6.7	6.0	7.0	5.0	7.0	6.0
大分	さいのみどり	4.7	4.5	5.3	5.7	5.0	4.5	—	3.5	4.5	3.5
	やぶきた	6.0	7.5	6.0	5.3	5.7	4.0	—	4.5	4.5	4.0
	さやまかおり	6.0	4.5	4.3	6.0	5.7	—	—	4.0	3.5	3.0
宮崎	さいのみどり	7.3	6.5	6.5	7.8	7.0	6.5	5.3	5.9	7.5	5.8
	やぶきた	7.6	8.2	7.3	7.4	7.4	6.2	6.5	6.3	6.8	6.5
	さやまかおり	7.0	6.5	6.9	7.9	7.2	5.9	6.0	5.7	7.2	5.6
佐賀	さいのみどり	6.5	6.0	7.0	7.8	6.5	5.3	3.8	5.0	6.0	4.0
	やぶきた	7.3	7.0	7.8	8.5	5.4	5.0	3.8	5.0	6.0	4.5
	さやまかおり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注1) 2000年～2002年の3年間平均 (試験地により1～2年の平均)

内野ら：北部茶産地向き茶早生品種‘さいのみどり’

表38 各試験地における一番茶の化学成分含有率

品	種	試験場所	全窒素	アミノ酸	テアニン	タンニン	カフェイン	NDF	年次
さいのみどり		宮崎	5.6%	3.1%	1.7%	15.4%	3.1%	17.6%	1999~2002年
		鹿児島	5.0	2.6	1.6	14.2	2.8	20.0	2000, 2001年
		佐賀	4.4	2.0	—	16.3	—	—	2000, 2001年
		埼玉	4.4	2.1	0.9	17.4	2.6	24.1	2002年
やぶきた		宮崎	6.1	3.7	2.2	13.5	3.0	16.6	1999~2002年
		鹿児島	5.6	3.6	2.2	12.5	2.7	18.5	2000, 2001年
		佐賀	5.3	2.7	—	14.0	—	—	2000, 2001年
		埼玉	5.1	2.5	1.1	18.2	3.0	19.3	2002年
さやまかおり		宮崎	5.7	3.2	1.7	15.4	2.8	17.5	1999~2002年
		鹿児島	5.6	3.1	1.7	15.5	2.6	17.6	2001年
かなやみどり		宮崎	5.8	3.2	1.8	14.9	3.0	17.2	2000~2002年
		鹿児島	5.6	3.1	1.8	14.7	2.9	18.3	2000, 2001年
ゆたかみどり		宮崎	5.9	3.1	1.7	15.7	3.2	16.1	1999~2002年
		鹿児島	5.5	2.9	1.7	14.6	2.8	17.7	2000, 2001年
		佐賀	5.5	2.4	—	16.7	—	—	2000, 2001年

表39 各試験地における二番茶の化学成分含有率

品	種	試験場所	全窒素	アミノ酸	テアニン	タンニン	カフェイン	NDF	年次
さいのみどり		宮崎	4.3%	1.2%	0.2%	21.5%	3.1%	20.4%	1999~2002年
		鹿児島	4.2	1.1	0.5	18.1	2.9	22.3	2000, 2001年
		佐賀	3.9	0.8	—	18.0	—	—	2000, 2001年
やぶきた		宮崎	4.8	2.0	0.8	17.9	2.8	20.3	1999~2002年
		鹿児島	4.2	1.1	0.5	17.9	2.6	23.4	2000, 2001年
		佐賀	4.0	1.1	—	18.0	—	—	2000, 2001年
さやまかおり		宮崎	4.5	1.6	0.5	19.9	3.0	20.5	1999~2002年
		鹿児島	4.3	1.4	0.4	20.7	3.1	20.8	2001年
かなやみどり		宮崎	4.4	1.7	0.6	17.9	2.7	21.5	2000~2002年
		鹿児島	4.1	1.2	0.5	17.3	2.7	23.8	2000, 2001年
ゆたかみどり		宮崎	4.6	1.5	0.4	20.3	3.1	19.3	1999~2002年
		鹿児島	4.3	1.2	0.5	18.4	2.8	21.7	2000, 2001年
		佐賀	4.0	0.8	—	19.0	—	—	2000, 2001年

表40 各試験地における炭疽病抵抗性

試験地	さいのみどり	やぶきた	さやまかおり	年次
茨城	2.0	2.2	2.0	1998~2002年
三重	1.0	1.4	1.2	1998~2002年
京都	1.0	1.0	1.3	1999~2000年
高知	1.7	3.2	3.3	1997~2002年
熊本	1.7	1.9	2.1	1996~2002年
鹿児島	1.8	4.3	4.0	1998~2000年
静岡	2.2	2.4	3.2	1995~2001年
滋賀	1.3	1.1	—	1996~2002年
奈良	1.0	1.0	1.0	1998~1999年
香川	1.3	1.1	1.3	1996~2002年
福岡	1.3	1.7	1.8	1998~2002年
長崎	1.5	2.5	—	1996, 1999年
大分	1.0	1.8	2.5	1999~2002年
宮崎	1.7	3.6	4.3	1999~2001年
佐賀	1.7	3.8	—	1999~2001年
平均	1.5	2.2	2.3	

注1) 被害:1(無)~5(多)

表43 各試験地におけるクシカカラムシ抵抗性

試験地	さいのみどり	やぶきた	さやまかおり	年次
鹿児島	1.8	1.9	-	2002年
宮崎	1.6	3.3	1.2	2001, 2002年
佐賀	2.0	3.0	-	2001年
平均	1.9	2.7	-	

注1) 被害:1(無)~5(多)

表41 各試験地における輪斑病抵抗性

試験地	さいのみどり	やぶきた	さやまかおり	年次
三重	1.0	1.0	1.3	2000~2002年
京都	1.0	1.5	1.0	1998~1999年
静岡	1.0	1.0	1.0	2000年
宮崎	4.0	5.0	3.0	1998年
佐賀	1.0	3.0	—	2000年
平均	1.6	2.3	1.6	

注1) 被害:1(無)~5(多)

表42 各試験地における赤焼病抵抗性

試験地	さいのみどり	やぶきた	さやまかおり	年次
鹿児島	2.0	2.0	2.0	1998~1999年
静岡	1.5	2.0	1.0	1996~2001年
佐賀	2.0	2.0	—	2000年
平均	1.8	2.0	1.5	

注1) 被害:1(無)~5(多)

表44 各試験地における赤枯れ抵抗性

試験地	さいのみどり	やぶきた	さやまかおり	年次
茨城	2.0	2.0	1.0	1997年
三重	1.3	1.3	1.0	1997~1999年
静岡	1.7	1.8	1.0	1996~2001年
奈良	1.0	1.5	1.0	1999, 2000年
香川	3.5	3.0	2.7	1998~2000年
福岡	1.0	1.0	—	1999, 2000年
平均	1.8	1.8	1.3	

注1) 被害:1(無)~5(多)

表45 各試験の育成担当者

試験年度	試験	育成担当者
1966年	採種及びは種	淵之上康元 田中萬吉 船越昭治 米丸忠
1967年~1975年	個体養成及び個体選抜	淵之上康元 田中萬吉 船越昭治 岡野信雄
1976年~1977年	苗床選抜試験	淵之上康元 岡野信雄 北田嘉一
1978年~1991年	栄養系比較試験	淵之上康元 北田嘉一 岡野信雄 中島健太
1994年~2002年	系統適応性検定試験 及び特性検定試験	岡野信雄 本多勇介 田中江里 内野博司 京極英雄 嶋崎 豊 石川 巖 酒井 崇

内野ら：北部茶産地向き茶早生品種‘さいのみどり’

栽培適地及び栽培上の注意事項

1 栽培適地

関東等の冷涼茶産地及び気象の類似する山間茶産地に適する。‘さやまかおり’で炭疽病が問題となる地域でも、それに代わって栽培が可能である。クワシロカイガラムシにやや抵抗性があるので被害のある地域では、被害が軽減できる

2 栽培上の注意事項

早生種であるので、晩霜害のおそれ大きい場所での栽培は避ける。

業により育成されたもので、栄養系適応性検定試験、特性検定試験並びに県単試験等において協力いただいた下記の関係場所に深い謝意を表する。

農林水産省指定栄養系適応性検定試験場所
茨城県農業総合センター山間地帯特産指導所，三重県科学技術振興センター農業研究部茶業研究室，京都府立茶業研究所，高知県農業技術センター茶業試験場，熊本県農業研究センター茶業研究所

農林水産省指定特性検定試験場所
鹿児島県茶業試験場，静岡県茶業試験場

県単事業による地域適応性検定試験場所

滋賀県農業総合センター茶業指導所，奈良県技術センター茶業振興センター，香川県農業試験場満濃分場，長崎県総合農林試験場東彼杵茶業支場，福岡県農業総合試験場八女分場，佐賀県茶業試験場，大分県農業技術センター

育成場所

独立行政法人野菜・茶業研究所茶業研究部育種素材開発チーム（枕崎），宮崎県総合農業試験場茶業支場

命名の由来

新芽が美しく，彩り豊かに緑の映える茶であることから‘さいのみどり’と命名され，漢字では‘彩の緑’と表記する。

育成従事者

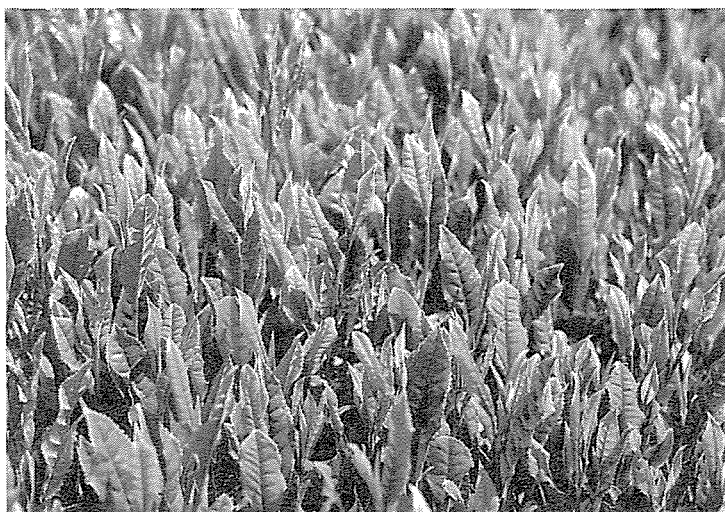
それぞれの試験の直接の従事者を表45に示した。

謝 辞

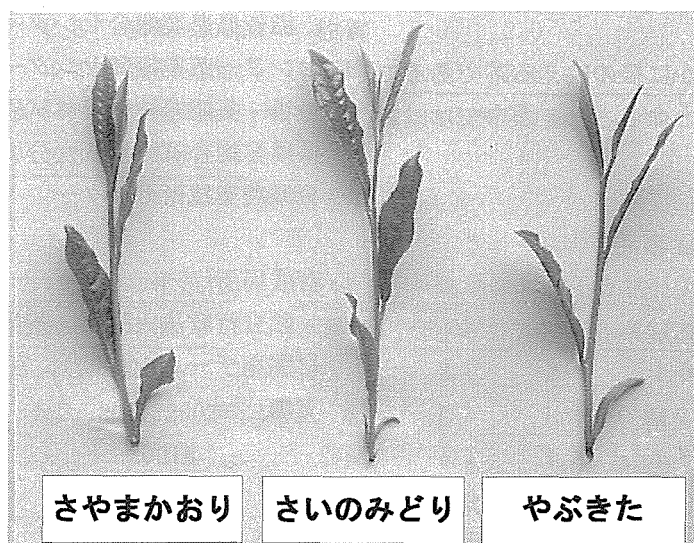
なお本品種は農林水産省委託の茶育種指定試験事



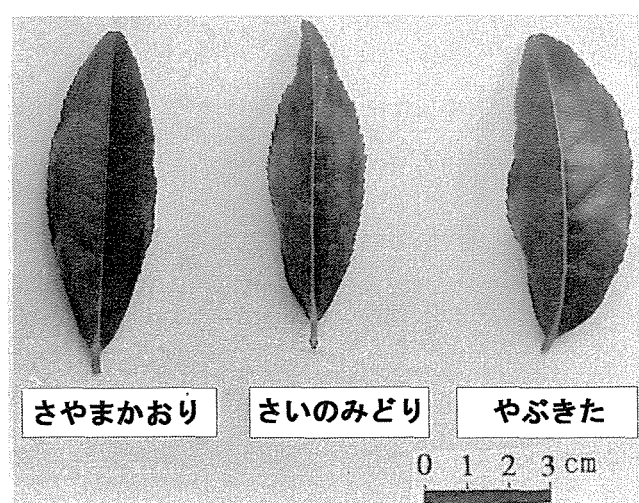
一番茶摘採期の生育状況



一番茶摘採期の新芽



一番茶の摘芽



成 葉